

[第 1 号議案] 2023 年度事業活動報告並びに決算承認に関する件

① 2023 年度事業活動報告

理事長 廣瀬 英孝

平素より、一般社団法人もとみや青年会議所（JCI もとみや）の活動に際しまして、地域の皆様をはじめ多くの方から多大なるご支援とご協力をいただいておりますことに厚く御礼申し上げます。また、もとみや青年会議所 OB 会をはじめ先輩諸兄の皆様には、わたしたち現役メンバーに対して常日頃よりご指導ご鞭撻を賜り、様々な面で心温まるサポートをいただいておりますことに深く感謝申し上げます。

さて、2023 年度は、～『幸せを未来へ繋ぐ』 現代（いま）を駆けよう 同志（なかま）たちと共に～をスローガンに掲げ、歴史ある JCI もとみやの価値、そして地域の幸せを未来へ繋げるべく活動を展開してまいりました。

7 月には市内に設置されたデザインマンホールを探すスタンプラリー事業「ぶらりーもとみや」を開催しました。2022 年度の事業「もとみやの未来 マンホールデザインコンテスト」において、市内の小学生から“もとみやの未来”をイメージして描いたイラストを募集・選考し、入賞者のイラストを市内の歩道にあるマンホールの蓋にプリントし設置するという事業を行いました。今回の事業では、スタンプラリーを通じて楽しみながら、そのデザインマンホールを巡り、本宮の名所を探索することで、参加していただいた小学生や親子連れなど多くの皆様に、地域の魅力に触れていただくことができました。

9 月には子供たちの“夢と希望”をテーマにした総合エンターテインメント事業「キッズドリームミュージアム in Motomiya City」を開催しました。こちらの事業は、わたしたちにとっても初の試みとなる非常に大がかりな内容となりましたが、委員会の垣根を越えて JCI もとみやメンバーが一丸となって準備・運営に取り組んだことで、大成功のうちに終えることができました。開催にあたり、福島県や本宮市などの行政をはじめ、地元の企業様や諸団体の皆様、OB 会の皆様には多大なるご支援とご協力をいただき、本当にありがとうございました。事業当日は二日間で 6,000 名を超える来場者があり、各ファンクションやブースでは、子供たちに様々な体験を通じて将来へ“夢と希望”を抱くキッカケづくりができたと感じております。

その他にも様々な事業を通じて運動を展開してまいりましたが、幸せを未来へ繋いでいくためには、今を生きる私たち一人ひとりが未来への明確なビジョンを持ち、率先して行動することで同志を集め、共に力を合わせて継続的に取り組んでいく必要があると感じています。わたしたち JCI もとみやは、今後も様々な分野の方々とパートナーシップを結び共に活動することで関係性を深めながら仲間を増やし、地域全体を巻き込んだ運動を展開していかなければなりません。その為には、メンバー一人ひとりのお力添えが必要不可欠です。地域の、そして子供たちの未来のため、共に励みましょう。

最後になりますが、わたしと一年間を共に歩み、支えていただきました JCI もとみやメンバーの皆様には心からの感謝を申し上げます。わたしが理事長として活動ができたのはあなた達のお陰です。あとは 2024 年度に想いを託したいと思っております。幸せを未来へ繋げられると信じて。一年間、本当にお世話になりました。ありがとうございました。